

上/建物を囲う白い壁はモザイクタイル。建物本体の壁のブルーグリーンが白壁とのコントラストを引き立たせている。
下/高いパーゴラに囲まれたパティオ風テラス。テント屋根を張ることもできる。

Q1. 趣味は？ Q2. 好きな映画、本、音楽は？ Q3. 好きな食べ物は？

パーゴラで活力ある外観に テラスはリゾート風住空間

text_ 中島 久美 photo_ 堀田 賢治

case 00
リゾート風テラス
のある家

以前から私の手がけた建物を見て興味を持っていただいていた施主様。住まいと美眉サロンなどの店舗がひとつになった併用住宅を建てることになり、「家づくり本」を見られてご依頼をいただきました。施主様のご希望は「見た人に感動を与え、いつまでも心の風景として記憶に残る建物にしたい」というもの。私が日頃から考えている設計テーマとも一致し、これがプランニングの出発点となりました。建物は1階が店舗、2階と3階が住居という空間構成です。外側の壁として正面から南側にカーブを描きながら建物全体を覆うように、白いタイルの壁を設けました。建物本体の壁との間には大きなパーゴラによる落ち着いた住空間が生まれます。曲線と直線で切り取られた白い壁と、隙間から見える

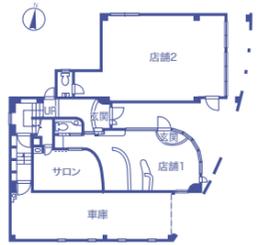
建物のブルーグリーンの壁とのコントラストが美しく、強く心に留めてもらえる外観です。一方、パーゴラの壁の内側はテラスと吹き抜けで構成しています。2階3階ともに開放的なテラスを設け、施主様の好きな海をイメージしてデザインしました。パーゴラの壁によって外部からの視線がさえぎられ、テラスでくつろぎながらリゾート気分が満喫できます。テラスはLDKに面し、室内もテラスの雰囲気を取り込んだ明るい空間になっています。この心地よさをより一層高めるためにおすすめしたのが、全館空調です。熱交換



3階



2階



1階

しながら新鮮な空気を取り入れてくれ、室内に入った瞬間に気持ちよさを実感していただいています。「とてもくつろげる居場所になりました」と心から喜んでいただくことができました。

The house with resort-style terrace

- 所在地/和歌山市●家族構成/本人+子世帯●敷地面積/330.59㎡(100.00坪)●延べ床面積/393.15㎡(118.93坪)1階150.30㎡(45.47坪)2階147.91㎡(44.74坪)3階94.94㎡(28.72坪)●用途地域/商業地域●建ぺい率/80%●容積率/400%●構造・工法/鉄骨造●竣工/2017年12月●本体工事費/約120,000,000円●施工/大浦建設株式会社

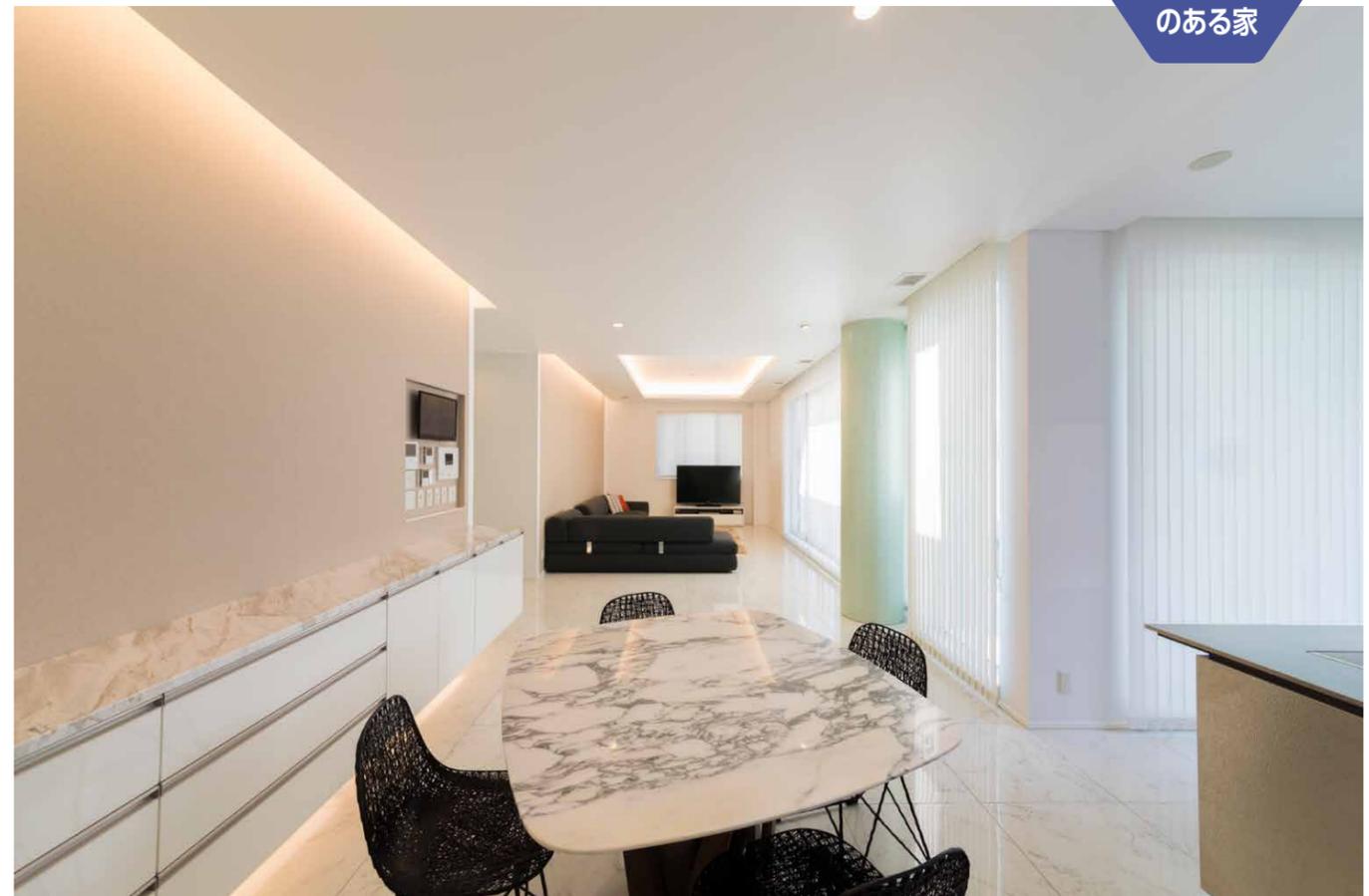


橋 雅彦 1941年和歌山市生まれ。1962年佐藤武夫(早大名誉教授)設計事務所にて6年間勤務。1974年フィレンツェ大学建築科留学。1975年ミラノのSTUDIO PRO設計事務所にて正社員として勤務。1976年エテルノ建築設計事務所設立。ガラス店装(全国)コンテスト審査員特別賞。その後同展最優秀賞受賞。和歌山県ふるさと建築景観賞受賞。和歌山市優良建築物賞受賞ほか。JIA登録建築家。日本建築学会会員。

- A1. 絵を描くこと
- A2. 音楽: モーツァルト
- A3. イタリア料理

予算と闘いながら高みを追求

建て主の思いや要望は千差万別です。建築家はそれができる限り受け入れて、より理解を深めるとともに、自然の美・恵み・災害などを詳しく知り、研鑽を積み重ねてはなりません。また一方で、常に予算との闘いを続けています。限られた予算内で建て主のさまざまな要望を満たしつつ、専門家として建物の価値を高めてまいります。



上/テラスをL型に取り入れた明るいLDK。薄いブラウンの壁、ミントグリーンのガラスモザイクの丸柱が優しい色を添える。
右/落ち着いたリビングの向こうにデッキテラスが広がる3階LDK。
左/マリニリゾートを思わせる3階のデッキテラス。吹き抜けのフェンスに沿ってベンチも設け、どこでも自由にくつろげる空間に。陽光は梁に取り付けた電動水平テントで制御。